

『保健師ジャーナル』バックナンバーのご案内

バックナンバーの目次は、弊社のホームページ(<http://www.igaku-shoin.co.jp/>)でもご覧いただけます。

2018年5月号

特集：「寄りあいワークショップ」の活用

住民主体のコミュニティ再生を目指して

コミュニティの衰退が指摘され、地域ぐるみで課題に取り組み、社会資源の醸成やコミュニティエンパワメントを図ることが求められている中、さまざまな分野で地域再生に用いられてきた「寄りあいワークショップ」の理論と方法、実践例を紹介し、その活用を考える。

2018年4月号

特集：データヘルス新時代

第2期データヘルス計画のスタートに伴う保険者インセンティブの本格導入や、介護保険事業(支援)計画におけるデータに基づく課題分析の要請など、保健活動が大きく変わろうとしている。今後、保健師がどうデータヘルスに取り組んでいくか、事例を踏まえながら考える。

2018年3月号

特集：中長期的視点から災害時保健活動を再考する

東日本大震災の健康への影響と保健活動の展開

東日本大震災より7年、中長期にわたる災害時保健活動に関するエビデンスや実践知が反映されてきている。それらの研究や取り組みを紹介し、中長期的視点を持って災害時保健活動を展開する意義や、実践知を継承した被災地支援体制づくりについて、考える。

2018年2月号

特集：地域で予防する フレイル

心身が虚弱な状態である「フレイル」。本特集では、とくにフレイルに陥りやすい高齢者に対し、フレイルの把握から運動・栄養・社会交流まで、さまざまな視点から取り組んだ地域活動の例とともに、今後の対策について考える。

2018年1月号 特集：保健師の継続教育を考える 大学院での学びは現場でどう活きるのか

2017年12月号 特集：これからのがん対策 保健師に求められる役割

2017年11月号 特集：生活習慣病の受診を促す保健指導 「受療行動促進モデルによる保健指導プログラム」の成果

2017年10月号 特集：「65歳の壁」を越える 障害福祉サービスと介護福祉サービスの連携

2017年9月号 特集：研究で実践を見つめ直そう 倫理的視点を踏まえ、業務の質向上につながる研究を

2017年8月号 特集：精神障害にも対応した地域包括ケアシステム

2017年7月号 特集：住民の声をどう施策へつなげるか 質的データを活用する工夫

2017年6月号 特集：これからの肝炎対策

バックナンバーのご注文について

2016年6月号以降のバックナンバーは医学書院受注センター(TEL.03-3817-5666, FAX.03-3885-0638)にご注文ください。

2016年5月号以前のバックナンバーは東亜ブック(TEL.03-5947-4781, FAX.03-3923-4539, E-mail:st@toabook.com, <http://www.toabook.com/>)にお問い合わせください。

2017年1月号以降の電子版は、医書.jp(<https://store.isho.jp/>)よりご購入いただけます。

